

障害児支援利用計画

利用者氏名(児童氏名)	K・Tくん			相談支援事業者名	ひかり相談支援事業所
保護者氏名	H・T様	本人との続柄	父親		
障害福祉サービス受給者証番号				計画作成担当者	遠山金ノ介
地域相談支援受給者証番号		通所受給者証番号			
計画案作成日	平成28年 3月15日	モニタリング期間(開始/終期年月)	6月ごと(H28.10/H29.3月)	利用者同意署名欄	印

利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)	体を使ってもっと遊びたい。電車が大好きなので、電車のことをもっと知りたい。いろんなお友達とたくさん遊びたい。(本人) 父母ともに就労しており、今後も働き続けていく上で、必要なサービスは受けていきたい。これまでの生活のリズム、福祉サービスの利用のペースについては満足しており、これからも維持していきたい。(家族)				
	僕のお父さんと、お母さんは、毎日、頑張って働いています。休みの日や、仕事が早く終わった時などは、公園で遊んでくれたり、電車でお出かけしてくれる優しいお父さんとお母さんです。でも、まだまだ遊び足りないです。学校が終わった後は、お友達と一緒に体を使っておもいっきり遊びたいです。特別支援級やれいんぼうのお友達とも、もっと遊びたいです。				
長期目標	自分の得意なことを活かして、お友達との遊びや関わり楽しめる時間を増やしていきたいです。				
短期目標	新しい活動の場所、新しい友達に慣れ、自分にとって楽しい活動にしたいです。				

優先順位	解決すべき課題(家族及び本人の発達のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等 種類・内容・量(頻度・時間)	課題解決のための本人・家族の役割	評価時期	その他留意事項
1	リラックスして遊びたい(本人)	ご本人が楽しんで通ってこれるよう、活動内容の工夫やお友達との関係に配慮します。	6か月後	れいんぼう (放課後等デイサービス) 週4日利用。(月・火・木・金曜日に利用) 時間帯は、主に16:00～18:00。	体調を整え、れいんぼうに通います	6ヶ月後	水曜日の利用を減らし、放課後子ども教室「ひまわり」の利用を開始します。
2	いろんな友達と遊びたい(本人) 交流時間が減ったので、地域の子ともたちとも関わらせたい(家族)	特別支援級やれいんぼうの以外のお友達との交流の機会を提供し、地域のお友達とのかかわりが、より楽しめるよう支援します。	6か月後	〇〇市教育委員会主催(今年一年参加できません。) 放課後子ども教室「ひまわり」 水曜日 14:30～17:00	ひまわりの活動に慣れ、お友達とも積極的にかかわります	6ヶ月後	教室へは、担当と行きます。お迎えについては、お兄ちゃんの協力を得ます
3	体を使った遊びをたくさんしたい(本人)	本人の好きな身体を使ったダイナミックな遊びを提供します。	6か月後	小学校 特別支援教室 月曜～金曜 8:30～15:30 水曜日のみ14:00下校 お昼休みや体育の時間等を活用 れいんぼう(放課後等デイサービス) 月・火・木・金 週4日利用16:00～18:00 ご自宅 休日 放課後子ども教室「ひまわり」 水曜日14:30～17:00 バランス感覚を必要とする遊びや、持続的に瞬発力を使う動きなどは、本人の体が欲求する部分を満たす活動になると思われます	自分がやりたい活動、遊びを支援員や両親に伝えます	6ヶ月後	遊び、活動の例として、自転車やトランポリン、キックボードなどがあげられます。それぞれの事業所、ご家庭の中であるものや、代用できるものでも大丈夫です。
4	家庭での過ごし方を広げたい 勉強する時間も増やしたい(家族)	本人の得意なパソコンを使い、ゲーム感覚で「算数」や「漢字」を学びます。	6か月後	ご自宅 夕食後から入浴の間の30分 まずは、週に2日から開始します。ご本人の興味、関心があることが確認できたら日数を増やしていきます	ソフトをダウンロードします。本人と一緒に楽しめそうなソフトを探るところから始めます。	6ヶ月後	本人の負担感がないよう、時間設定については、体調や状態を考慮します。見通しを持たせるために、タイマー等を活用し、実施します。

子どもの支援利用計画【週間計画表】

利用者氏名(児童氏名)	K・Tくん	住んでいる地域	市	相談支援事業者名	ひかり相談支援事業所
障害福祉サービス受給者証番号				計画作成担当者	遠山金ノ介
地域相談支援受給者証番号		通所受給者証番号			

計画開始年月	平成 28 年 4 月
--------	-------------

		月	火	水	木	金	土	日・祝	主な日常生活上の活動	
6:00									遊びについて *汗をいっぱいかいて、ダイナミックに体を動かすことが大好きなようです。これからはさらに体力はついてくると思いますので、Kくんにとって達成感が持て、何でも挑戦したくなる全身を使った運動、個人競技といったものを、できれば日常的に体験できると思いますね。	
	起床・朝食									
	身支度・学校準備								起床 朝食	
8:00	登校(お父さんかお母さんが後をついて、Kくんが校門に入るまで見守っているようですね。)						起床 朝食			
10:00							自宅でのんびり		自宅でのんびり	
12:00	小学校 特別支援級	小学校 特別支援級	小学校 特別支援級	小学校 特別支援級	小学校 特別支援級	昼食				
14:00						お父さんとお出 かけ (日曜日になる ことも)	パソコン・ゲー ム等			
16:00			公園遊び (自転車)							
18:00										
	放課後等 デイサービス れいんぼう	放課後等 デイサービス れいんぼう	放課後子ども教室 ひまわり	放課後等 デイサービス れいんぼう	放課後等 デイサービス れいんぼう					
	毎日ではないが、お母さんと公園で遊ぶこともある									
20:00										
	パソコンでの学習			夕食			パソコンでの学習			
				入浴						
22:00										
	就寝									
0:00										
2:00									週単位以外のサービス	
	短期入所については、冠婚葬祭の時などに、Kくんを連れていく気持ちのあるご両親にとって、経験させておく必要性をあまり感じません。不安なら相談くださいな。 学校の長期休暇など、必要に応じて放課後デイを利用しているようですが、お父さんとお出かけができれば、それが一番Kくんにとってはいいようですな。									
4:00										

<p>サービス提供 によって実現 する生活の 全体像</p>	<p>日々の生活について、特に嫌なこともなく、お友達との時間も含めて、楽しんでいるKくんです。過ごしているそれぞれの場所で、やりたいことを見つけ、落ち着いて過ごすこともできています。ご両親にも温かく見守られ、持てる力をしっかりと発揮しながら成長しているようですね。マイペースに見られがちなところがありますが、周りの子どもらの行動はしっかりとチェックし、時々笑っている姿も多いように感じました。</p>
--	--

子どもの現状(基本情報)

作成日	平成28年3月 日	相談支援事業者名	ひかり相談支援事業所	計画作成担当者	遠山金ノ介
-----	-----------	----------	------------	---------	-------

1. 子どもの育ち(支援経過・現状と課題等)および発達状況

発達の状況

運動面～運動面としては、筋力、バランス面も含めて特に問題はない。自転車に乗ることが好きで、スピードをつけて上手に乗ることができる。プランコは立ち乗りが得意。かなり激しくこぐので、先生がついている時しか乗れない。(乗りたい時は先生に要求している。)

食事～年長までは手づかみも見られていたが、上手に箸を使えるようになってきた。わりと何でも食べる。

排泄について～一人でさっさと用を足している。

歯磨き～一人でやる。歯医者は一度だけ受診。虫歯はない。

意思の伝え方～うまく伝わらないと、物を持ってきてジェスチャーも含め、後は単語を並べて伝えようとする。学校の交流学級にて、帰りの会で必ず手を挙げ発言する。クラスの子の名前を一人か二人言った後に、「ありがとう!」という内容だが、クラスの子どもは、自分の名前を言ってもらえることを楽しみにしている。Kくんの話を聞き出すのが上手な女の子が二人おり、昼休憩の時にずっとその二人にインタビューされている日もある。

手伝い～食後の片付けは定着している。家族がまだ食べていても、片づけたいので、お父さんはゆっくり晩酌ができないとのこと。(しかもビールをさっさと空にしたがり、注ぎまくるとのこと!)

交通ルール～信号の理解はできている。まだ一人では外出させていない。

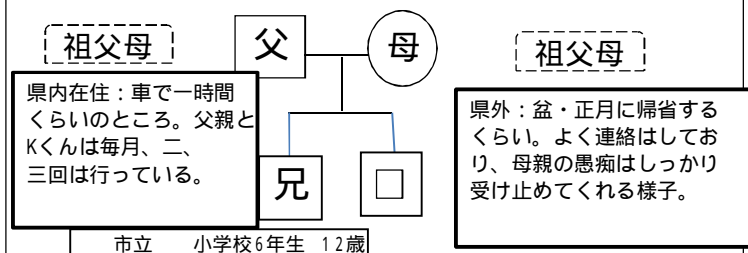
学習面～漢字は興味があり、同年齢レベルで習う漢字の読みは良好。計算は、一桁同士の足し算なら対応可。時計は、 時といった内容は理解可。YouTube(動画サイト)の検索時に平仮名打ちで探すことができる。

関心・興味～自転車に乗ること、スケーター遊びなどは大好き。東京ディズニーランドが楽しかったようで、東京ディズニーランド関係の動画をよく見ている。中でも特に関心が高いのは、電車! 駅や電車の車庫など、休日は父親に連れられてよく行っている。飽きずによく見ており、動画でも全国各地の電車を見ているため、どこの鉄道会社の電車をよく知っている。また、いろんな角度から写真を撮り、イメージ通りに写真が撮れるまで、何度も撮り直す。家族との遠出も大好きで、電車にもよく乗っており、新幹線でも長時間とてもおとなしく外を眺めている様子。

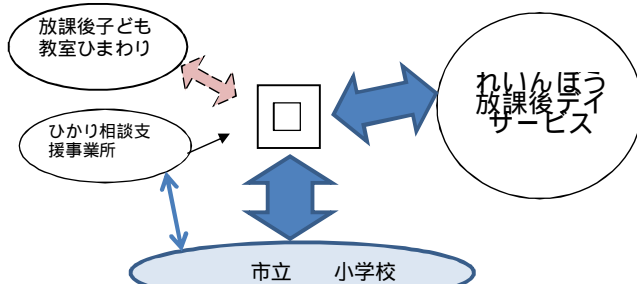
2. 利用者の状況

氏 名	K・Tくん	生年月日	平成 19年 8月 日	年 齢	8 歳
住 所	県〇〇市 町 108丁目	電話番号	000-000-0000	FAX番号	
障害または疾患名	自閉症スペクトラム(市立 病院小児科 Dr. の診断)	性別	男 ・ 女		

家族構成



社会関係図 本人と関わりを持つ機関・人物等



生活歴 受診歴等含む

H19年 月 出生、在胎40W、3,005g
H20年 月 健診後のフォローとしての地域の親子教室に参加、その後地域で実施する親子相談を受け、療育を勧められる
同年 月 市立 病院小児科受診
翌年1月 療育手帳申請 B2交付(軽度)
同年4月 児童発達支援事業所 A園入園
H25年3月 A園卒園(4年在園)、同4月 市立 小学校に入学。特別支援学級在籍。以後今日に至る。
H25年6月に手帳の再判定でB1となる。(中度)

健康・体調について

とにかく元気! 学校を休むことは無い。体調管理上、特に気をつけた方がよいような点もない。水分の摂取についても、常に水筒を持たせており、自分で小分けして飲むことができる。医療機関に通院することはない。

本人の主訴(意向・希望)

(推測になりますが、)
* 激しく動いて、体で感じることは大好き!
* 乗り物大好き、電車が好き!
* にこにこ笑って、ゆっくりしゃべってくれる人は好き!

家族の主訴(意向・希望)

母親の話
家ではパソコンに向かって時間が多く、もっと宿題があったら、勉強する時間が多くなるのかなと思う。
仕事忙しいので、なかなか遊びに連れていけない。(土日によく相手をしてきている夫には感謝している。)
特別に望んでいることはなく、これまでのペースで生活していきたいと思っている。

3. 支援の状況

	名称	提供機関・提供者	支援内容	頻度	備考
公的支援(障害福祉サービス、介護保険等)	放課後等デイサービス	放課後等デイサービス・れいんぼう	保護者の就労保障(家族支援)及び年齢に応じた遊びや交流関係の支援(生活の質を高めるための支援)	毎週月・火・木・金曜日 主に16:00～18:00	長期休暇中は午前中から利用している。事業所の車での送迎。
その他の支援	放課後子ども教室(市主催)	放課後こども教室ひまわり	地域の子どもたちとの交流の場	毎週水曜日 14:30～17:00	

子どもの現状(基本情報) 【現在の生活】

児童名	K・Tくん			相談支援事業者名	ひかり相談支援事業所
				計画作成担当者	遠山金ノ介

	月	火	水	木	金	土	日・祝	主な日常生活上の活動
6:00								（市内）Z公園、Y子ども館、スポーツ観戦なども楽しんでいる様子。土曜日は、父方の祖母の家によく行く。日曜日には、よく父親と出かけて、駅に行って電車を二人で眺めることは多い。特に電車の撮影に凝っている。平日の夕方、母親が早く仕事が終わった日は、近所の空き地などで、存分に自転車あそびなどができるところへ、連れて行っている。外出全般に、安定して楽しめている様子。但し、東京ディズニーランドのようにかなりの人ごみのところでは、そばにいる親を見失うことを怖がり、自ら気をつけて親にぴったりと寄り添って歩いて歩いている様子。
	起床・朝食							
	身支度・学校準備							
8:00	登校(お父さんかお母さんが後をついて、Kくんが校門に入るまで見守っているようです。)					起床 朝食		は、近所の空き地などで、存分に自転車あそびなどができるところへ、連れて行っている。外出全般に、安定して楽しめている様子。但し、東京ディズニーランドのようにかなりの人ごみのところでは、そばにいる親を見失うことを怖がり、自ら気をつけて親にぴったりと寄り添って歩いて歩いている様子。 家庭内での過ごし方 *宿題が出た時は、さっさと家に帰ってから一人でやっている。はやくテレビゲームをやりたいこともあり、宿題は早く済ませている。 *早寝が定着している。布団に入ってからすぐに寝入って、朝まで起きない。幼児期は、夜中に起きて走り回ったりしていたので、本当に楽になったとのこと。 *入浴についても、一人で入ることが多い。洗髪も何とが自分で頑張っている。 *苦手なこと、苦手なタイプ～大人が自分のことでなくても、誰かを怒鳴ったり、注意したりする場面があると、耳に手をあてて、聞きたくないといばかりに、大声を出し始める。また、自分が注意された時は、「お口はチャック！」と周囲をした人の顔に近づけて繰り返し言う。社会的なルールや善悪の区別など、本人にわかり易く、視覚的に図や文章で示しながら、何をやってはダメと伝えるだけでなく、何をどうやったらいいのかをしっかりと教えていくことは大切。十分にいろんなスキルを理解し、身につける力を持っている！
						自宅でのんびり	自宅でのんびり	
10:00								
12:00	小学校 特別支援級	小学校 特別支援級	小学校 特別支援級	小学校 特別支援級	小学校 特別支援級		昼食	
14:00						お父さんとお出かけ (日曜日になることも)	パソコン・ゲーム等	
							お父さんとお出かけ (公園・自転車遊び)	
16:00	放課後等 デイサービス れいんぼう	放課後等 デイサービス れいんぼう	放課後等 デイサービス れいんぼう	放課後等 デイサービス れいんぼう	放課後等 デイサービス れいんぼう			
18:00	毎日ではないが、お母さんと公園で遊ぶこともある							
	夕食							
20:00								
	入浴							
	就寝							
22:00								週単位以外のサービス 一度、短期入所を学校関係者に勧められて利用したことがある。利用してから何事もなかったが、カレンダーの次の月の12日を指して、「熱ある！あたま！」と険しい顔で言うことが重なり、12日に何があるのですか？と担任に聞くと、普段通りですとの答えなので、そのままになっていたが、さらにその次の月も同様なことが起こった。結局短期入所を利用したのが、12～13日だったので、行きたくないという主張ではないかということになった。「園は行きません。」と伝えと、以後は主張はなくなったとのこと。今は短期入所は全く考えていない。
0:00								
2:00								
4:00								